

2020年5月18日

2020年度産業学会全国大会（研究会）「自由論題報告」実施要領

2020年度産業学会全国大会実行委員会

委員長 塩地 洋

委員 杉浦 勝章

中山 健一郎

佐伯 靖雄

中道 一心

2020年度産業学会全国大会（研究会）自由論題報告はオンラインで実施いたします。ここの報告は正式な学会報告の業績であり、自由論題報告を行った会員に対して2020年度に限り、『産業学会研究年報』第36号への優先投稿権を付与します。

このような形態で実施する理由は、これまで産業学会は全国大会（全国研究会）でひろく会員から自由論題報告を募り、そこでのディスカッションを通じて、それぞれの研究をブラッシュアップしてきたと認識しているからです。緊急事態においても、会員同士のディスカッションの場を設け、それを経たうえて研究年報に投稿いただくというプロセスを堅持したいと考えます。

2019年6月の理事会決定では、2020年度より自由論題報告について編集委員（理事）が投票を行って優先投稿権付与を決定することになっていましたが、2020年度に限り自由論題で報告を行った報告者全員に優先投稿権を付与します。「優先投稿権」とは、論文投稿者が持つ「初稿の査読においては掲載不可にならない」権利のことである。著者は初稿査読において修正を求められた場合、二稿を提出して再度査読を受けることができます。査読者は、再度の査読において掲載可、掲載不可の判断を行います。

2. 自由論題報告の会員への共有

報告資料は無料大容量ファイル転送サービスを介して、会員が報告資料をダウンロードする方法で共有します。会員は質問・コメントをGoogleフォーム上に記入し、それに対して報告者は回答資料を作成します。その回答資料は無料大容量ファイル転送サービスを介

して、会員がダウンロードする方法で共有する。

大会実行委員会は報告資料・回答資料の集約、質問・コメントの整理、会員への連絡（ホームページの更新、メールの配信）を行います。学会からのメールをご確認ください。

なお、報告資料は報告者にコピーライトがありますので、報告資料の利用は質問・コメントのための閲覧に限ってください。

加えて、①報告者が研究年報への投稿に向けたブラッシュアップに貢献する建設的な質問・コメントを作成いただくこと、②報告者がすべての質問に回答することができないことをご理解いただけますようお願いいたします。

一連のプロセス

(1) 学会事務局が6月14日までにホームページ上に報告資料をアップしている URL を記載します。そのうえで会員にメールで連絡し、報告資料をダウンロードするときに必要なパスワードも併せて連絡します。

(2) 会員は報告資料をダウンロードし、閲覧したうえで、質問およびコメントがある場合、6月21日までに Google フォーム「2020年産業学会自由論題報告（質問・コメント）」にその内容を記入します。

※サンプル

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdxY_ILTaJJyTPoLJzrDgA9u_Ss_xPCxUkqsZ_JMfr7SpC-Gxw/viewform

(3) 学会事務局が報告ごとに質問・コメントを整理し、6月25日までに報告者に連絡します。

(4) 報告者は回答資料を作成し、学会事務局が7月31日までにホームページ上に回答資料をアップしている URL を記載します。そのうえで会員にメールで連絡し、報回答資料をダウンロードするときに必要なパスワードも併せて連絡します。

(5) これ以降のディスカッションは、会員間のやりとりに委ねます。

3. 自由論題報告の報告資料の形式

報告者には基本的に以下の2つのファイル形式で報告資料・回答資料を作成いただきます。

(1) MP4形式の動画（①Zoomなどのweb会議サービスを利用した動画作成、②PowerPointやKeynoteなどのプレゼンテーションソフトで作成された音声付アニメーション）

メーションの動画ファイル化を想定)

(2) PDF 形式 (①PowerPoint や Keynote などのプレゼンテーションソフトのノート欄を活用し口頭発表の文字化、②word などのワープロソフトで作成した論文の PDF 化を想定)

※上記と異なる形式で作成される場合もあります。

お問い合わせ先

学会事務局

下関市立大学 杉浦 勝章

sugiura@shimonoseki-cu.ac.jp

大会実行委員

同志社大学 中道一心

nakamichi.kazushi@gmail.com

以上